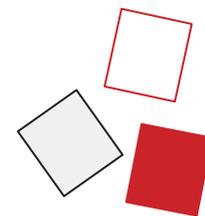


「問題解決力検定」 紹介資料

問題解決力検定協会



問題解決力検定



目次

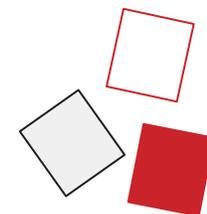
問題解決力検定の概要

問題解決力検定の活用例

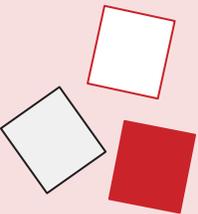
試験の結果報告について

全体の流れと受験形態について育成

プログラムの紹介

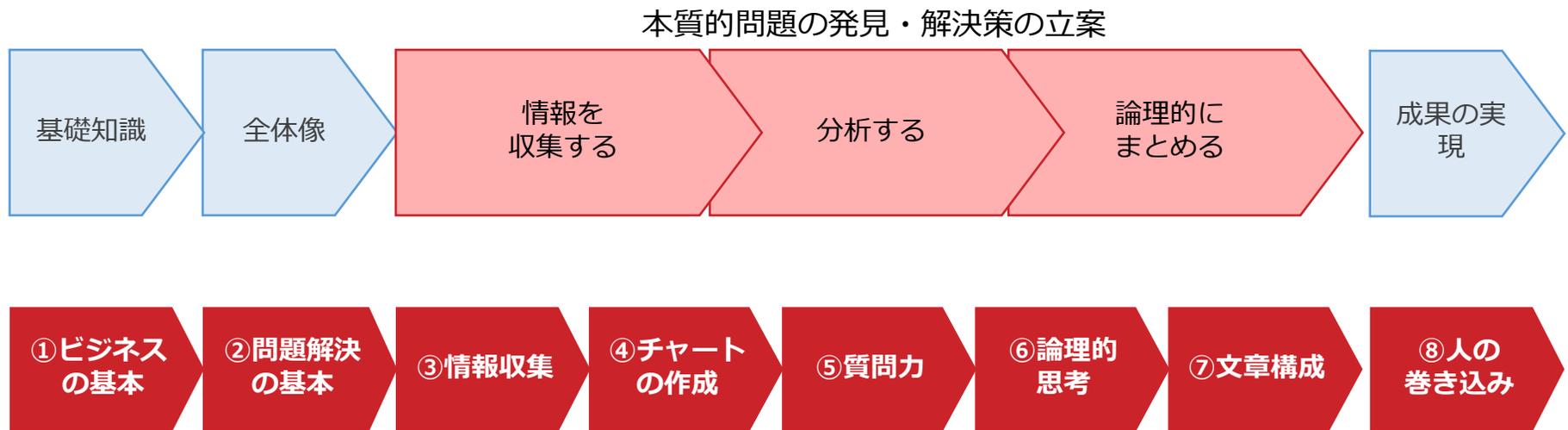


問題解決力検定の概要



問題解決力検定で見える化するスキル

組織や企業業績を向上させるための「問題解決力」に必要な能力を8つのカテゴリーに分解しその能力ごとのスキルを測定



8つのスキルの内容

問題解決力検定協会で定義した8つのカテゴリーは、それぞれ、問題解決を行うための不可欠な要素となっています

ビジネスの基本

基本的な経済知識・財務の理解、ビジネスセオリーなど土台となる知識

問題解決の基本

本質的問題を発見し、それを解決するための施策を立案していくという全体の流れ（アプローチ）を理解し考える力

情報収集

問題を発見するための「材料」となる情報を特定し、それらを収集する力

チャートの作成

情報（定量的/定性的データも）をグラフやコンセプトチャートにして分析し、意味合いを抽出する力

質問力

情報収集の一つ。質問と対話で相手の考えを引き出し、問題の本質を見極める力

論理的思考

フレームワーク・MECE・演繹法・帰納法を活用し、論理を組み立て、「要は何か＝本質」を導く力

文章構成

ピラミッド構造で説得力のあるビジネス文書を演繹法と帰納法を使い作成する力

人の巻き込み

成果を実現するためにリーダーシップやプロジェクトマネジメント力、コミュニケーション能力で人を巻き込む力

問題解決力検定のラインアップ

4つの級で個人の「問題解決力」を客観的に判定することで、企業の業績向上を目指す人たちがより高い能力を持つ問題解決者になれるように支援することを目的としています。単なる検定試験にとどまらず級を進むごとに自身の次のステップ・課題が明確になります

4級

戦略スタッフ

問題解決の基本知識を身につけ、基本的な分析に取り組める

[企業の経営企画]

- スタッフとして与えられたテーマの分析に取り組める

[コンサルティング会社]

- 1～2年目でアナリストとして分析に取り組める

3級

戦略プランナー

問題解決を理解し、企業での問題理解をするための考え方が身についている

[企業の経営企画]

- ある程度知見のある分野であれば、課題を設定してテーマを提案できる

[コンサルティング会社]

- プロジェクトマネージャーの下で、全般的な分析を任せられる

2級

戦略コンサルタント

問題解決の十分な実戦経験を持ち、プロジェクトリーダーとして全体設計を行い、チームを率いて推進できる

[企業の経営企画]

- 部門のリーダーとして活動を推進していける

[コンサルティング会社]

- プロジェクトマネージャーが務められる

1級

上級戦略コンサルタント

問題解決の視点で経営における重大課題を発見し、必要な施策を推進することが出来る

[企業の経営企画]

- 事業部長などの役割で、全体をマネジメントできる

[コンサルティング会社]

- コンサルタントとして企業経営者と経営課題について討議し、プロジェクトを案件化し推進できる

問題解決力検定のラインアップ

4級は選択式で個人の知識レベルを問う問題が多く、3級・2級・1級に進むにつれ、企業業績向上のための問題解決の考える力を判定していきます

	4級 戦略スタッフ	3級 戦略プランナー	2級 戦略コンサルタント	1級 上級戦略コンサルタント
問題数	40問	40問	非公開	プレゼン: 1テーマ 記述: 2問
出題形式	選択式	選択式	記述式 (Microsoft PowerPoint, Microsoft Excelを使用)	プレゼン・質疑応答 記述式
試験時間	60分	60分	120分	プレゼン30分 (15分発表、15分質疑・ 総評) 記述60分
受験形態	会場受験 CBT試験	会場受験 CBT試験	会場受験 PC試験	会場受験 面接・PC試験
受験料	7,700円 (税込)	11,000円 (税込)	22,000円 (税込)	44,000円 (税込) 2級合格者は事前課題のみ で33,000円 (税込み)

4級 問題例

8つのカテゴリーから5問ずつ基本的な知識問題を出題。知識を問う問題と問題解決の考え方を問う問題がある

問題解決の基本

サンプル問題

お酒好きの君は、毎日の晩酌が楽しみです。ただ、飲みすぎると体調が悪く、次の日会社に遅刻してしまうことがあります。遅刻は、今月すでに回目で、問題を感じています。A君がこの問題に取り組むためのアプローチとして、最も正しいものを一つ選んでください。

1. 飲む量を制限する
2. 休みの前日だけ飲むことにする
3. 飲みすぎによる問題とその原因を理解し、その対策を取る
4. 遅刻の原因を見極め、その対策を取る

情報収集

サンプル問題

ビジネスにおける情報源として、下記の中で最も信頼性が高いものはどれですか。最も正しいものを一つ選んでください。

1. 新聞記事
2. 日本政府の基幹統計
3. Wikipedia(ウィキペディア)の記事
4. 上記3つの信頼性に違いはない

質問力

サンプル問題

インタビューの相手の選定について書かれた文章を読み、選択肢から(A)にあてはまるものを選んで文章を完成させてください。

有価証券報告書や企業 など公開情報で情報収集したあとは、インタビューで問題を深掘りしていきます。インタビュー相手は、問題発見につながるかどうかを考えて選定します。自社のメンバーと直接の顧客企業からスタートしますが、場合によっては、事業のサプライチェーンを考えて、商品やサービスの到達先である(A)までをインタビュー先に含めることで、価値ある発見を行うことができます。

1. 仕入先
2. 代理店
3. 小売店
4. 最終消費者

3級 問題例

1つの会社を題材として、8つのカテゴリーから5問ずつ出題

あなたは牛丼チェーン吉田屋の経営企画担当取締役です。

直近で会社の業績が伸び悩んでいます。今後どのようにして吉田屋の業績を良くしていくか、問題解決のアプローチで考えてください

問1～40まで、一つのケースについて検討していく流れで出題されます。

ビジネスの基本 サンプル問題

企業を取り巻く環境を分析する際のフレームワークとして3Cがあります。吉田屋について考えた時に下記の1～4の項目が3Cのどれにあたるのかを選択肢から選んでください。同じものをいくつ使用しても構いません。なお3CとはCompany（自社）、Customer（顧客）、Competitor（競合）の頭文字をさしています。

1. 吉田屋の売上高
2. 牛丼業界のトップ5社のシェア
3. 牛丼愛好者が牛丼を食べる理由のアンケート
4. 牛丼の市場規模

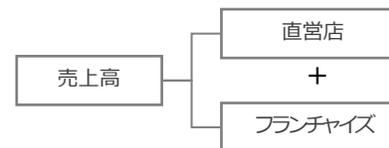
選択肢

A: Company（自社） B: Customer（顧客）
C: Competitor（競合） D: どれも当てはまらない

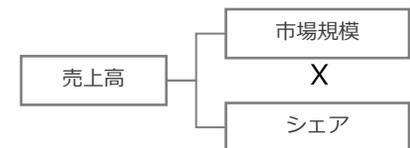
論理的思考 サンプル問題

吉田家の売上を分解するツリーとして、**正しくないもの**を一つ選んでください

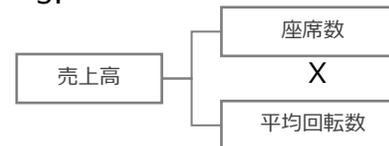
1.



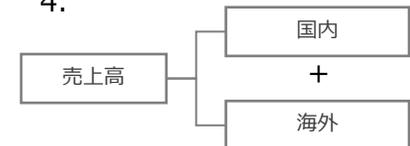
2.



3.



4.



2級 問題例

1つの会社を題材として、配布の資料を基に、帰納法的に会社の本質的な問題をまとめ、それを元に解決の方向性についても記述していただく

独立系のコンサルタントであるあなたのところに、外資系ファンドで働いている友人から、企業の状況評価の依頼が来ました。チャートから問題を理解してメッセージにまとめ、さらにそれをピラミッド構成法を使ってまとめてみましょう。また、その本質的問題をベースに今後の取組みとどのような情報収集・分析を行うべきかも記載してください。

サンプル問題

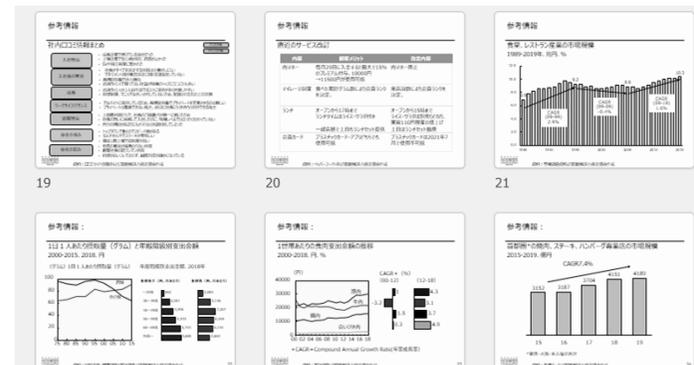
問1

問題の発見は帰納法で行います。提示された情報をそれぞれ理解し、共通項で括って、それから何が言えるのかを要約してってください。

問2

問1をふまえて、今後どのような活動を行っていくべきか、考える取組みの方向性についてまとめて下さい。また、今後どのような情報収集・分析を行うべきかも記載してください。

メッセージ未記入の下記のようなチャートが配布される

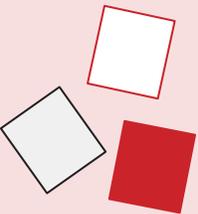


1 級：事前課題と当日課題

ご自身の作成した問題解決の取組みの資料の事前課題（プレゼン・質疑応答）と問題解決力を問う当日課題（PPT記述式）の2つの試験で構成され、2級資格をもっている人は当日課題は免除

事前課題	問題解決への取組み事例を資料としてまとめ事前に提出し、その内容を当日プレゼン（15分）、質疑応答（15分）	当日課題	検定当日、問題解決力にかかわる設問に対して、PPTで記述回答（60分）
背景	<ul style="list-style-type: none">• テーマ選択の理由• 提案の背景• 提案の結果	試験内容	受験者の問題解決の考え方が一定のレベルを超えているのかを理解するために、問題解決の基本、ビジネスの基本、論理的思考を評価
提案内容	<ul style="list-style-type: none">• ピラミッド構造による結論• 結論を証明するチャート• 解決の方向性などの資料	ボリューム	<ul style="list-style-type: none">• 2設問、記述、60分
ボリューム	<ul style="list-style-type: none">• 10～30枚程度（プレゼン時間15分）		

問題解決力検定の活用例



人材管理ステージと問題解決力検定の活用

人材管理のステージごとに適切なレベルの「問題解決力検定」を選択し、人材獲得・開発/組織開発に活用するとともに、組織横断の人材データとして全体のスキル把握・成長を可視化

採用

- 一定の問題解決力を備えた人材のスクリーニング
- 採用プロセスの効率化

育成

- 研修・OPTの成果を Before/After、時系列で可視化
- 効果の高い育成方法の見極め
- 自己スキルの客観的認識

昇格

- 昇格判断の客観的評価指標の一つとして活用
- 強化スキルの具体化

組織人員全体のスキル把握

目まぐるしく事業環境が変化する中で、事業成長戦略を描ける人材マップとして活用

ユースケース：採用

即戦力人材の確保に向け、従来の面接や一般的な採用テストでは把握しきれない能力を評価するため、問題解決力を新たな基準として導入。これにより、企業はより実践的なスキルを持つ人材を見極めることが可能となり、組織の即戦力化を促進しています

状況	<ul style="list-style-type: none">候補者が、SNSを通じた情報やAIを活用し、事前準備してくるため、採用面接や履歴書、従来型の一般的な思考力テストだけでは、限られた時間で候補者の思考力や改題可決力が適切に見極めることが困難
活用後	<ul style="list-style-type: none">限られた時間内での業種や経験に関する情報、面接だけでは見抜けない能力について客観的に評価でき、「選考者による判断のばらつき回避」「選考の効率化」と「ミスマッチの最小化」を実現し即戦力人材を確保
活用する 問題解決力 検定	
活用 タイミング 例	
課題解決の ポイント	<ul style="list-style-type: none">候補者全体の中での客観的位置づけの把握潜在的能力を含め、求める能力とのマッチングの確認適用業務・職種への適正判断

ユースケース：育成

問題解決力の育成においては、明確な目標設定の下で、育成プログラムを運営し、更には受験後の効果測定も行い能力開発に貢献しています

状況	<ul style="list-style-type: none">DX人材の確保を進めたいもが、現状では社内の人材がどのようなスキルを保有しているかを客観的に把握できていない。また、研修や育成プログラムの受講後における具体的な成果測定も十分に行えていないため、効果的な人材確保・育成が実現できていない
活用後	<ul style="list-style-type: none">組織内の人材が保有するスキルを客観的に把握し、明確な目標設定のもとで適切な育成プログラムを実施。さらに、プログラム受講後の効果測定を通じて、必要人材の確保を促進するとともに、教育投資のROI（投資収益率）の見える化を実現。
活用する 問題解決力 検定	
活用 タイミング 例	
課題解決の ポイント	<ul style="list-style-type: none">職種。役職別の人材スキルデータを把握し、適切に配置人材のスキル状況に応じた適切な育成プログラムの提供育成プログラム受講時に、成果目標を設定し、受講後その成果を数値で測定

ユースケース：昇格

問題解決力検定を昇格に導入することで、上司の主観ではなく、その人の管理職としての問題解決能力を客観的に評価し適材の昇格基準の一つとして機能します

状況	<ul style="list-style-type: none">昇格要件は定性的な基準が中心で、上司の主観的な経験や印象に依存している。その結果、不適切な候補者の昇格や評価プロセスの透明性不足により、社員の納得感が低下し、組織全体のモチベーション低下を招いている
活用後	<ul style="list-style-type: none">客観的にスコア化されたスキル指標を昇格判断に組み込むことで、明確な基準に基づいた昇格人材の選定と課題の提示が可能。同時に、候補者に対して強化すべきスキル課題や具体的な目標を明示できるため、スキルとモチベーションの双方が向上
活用する問題解決力検定	
活用タイミング例	
課題解決のポイント	<ul style="list-style-type: none">候補者を同一の基準で評価向上すべきスキルとプログラムの提示

問題解決力検定 活用例（A社商社の例）

A社は問題解決力検定を社内の資格取得制度に活用し、問題解決の考え方を浸透し、企業改革を推進させている

問題解決力検定の社内活用法

1級

事部長・事業推進リーダーに会社から推奨

部長/事業推進リーダー推奨

2級

管理職の昇給試験などに、2級獲得の状況確認あり。2級獲得者は社内で表彰制度あり（管理職の受検30%、合格率は30%程度、会社全体の15%程度）

管理職推奨

3級

管理職は基本的に必須としている（管理職は受検80%、合格率は50%程度）

中堅社員推奨

管理職必須

4級

全社員（一般職・総合職）全員に会社が試験費用負担。および検定向け研修、学習のための推薦図書配布（100%受検）

全社員必須

採用のきっかけ

- 問題解決を社内の文化・共通言語にするため
- 営業向けの社内資格取得制度の強化
- 企業風土として問題解決の考え方を根付かせるため
管理職の能力の底上げ（昇格要件とした）

成果について

- 継続実施により3級取得する人も増え、学びへのモチベーションとすることができた
- 合格・高得点者と本人の能力は比例傾向にあり、弱い部分、強い部分など、職種ごとの特徴が出て、教育の気づきにつながった
- 若手でポテンシャルのある人財を発掘することに役立った
- 社内での問題解決の考え方の浸透につながった

事前の学習について

- 推薦図書について告知
- 推薦図書の一部を事前学習用に配布
- 問題解決力検定主催の事前講義（3.5時間）

問題解決力検定 活用例 (A社商社の例)

問題解決力検定を体系的に受け続けているA社は、学びを続けることで、学びと成長のサイクルが生まれている

問題解決力検定の社内の声と得た成果



1級

事業推進力向上
次期経営者育成

2級

顧客への提案付加価値向上、
事業全体の効率化と活性化

物事を本質的に見極めようとするクセ
がつき、提案の幅や質が高まった。顧
客からもより広く・深い相談が多くな
り、信頼度も高まった

顧客や協力会社に対して、正しい取り
組みを一緒に考えられるようになって
きた

3級

学びの定着と推進。
問題解決の実践

業務を取り組むにあたり、「目標に
対する適正なアプローチ」を考える
ようになった

書籍の精読と実務で思考を癖づけ
て、問題解決力検定対策をした

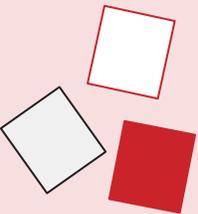
4級

全社員向け。ビジネスの基盤、
共通言語の浸透

課題が出たときに、原因を一步ひいて考
えられるようになり、同僚にも論理的に
説明しコミュニケーションがスムーズに
なり、仕事の効率が上がった。

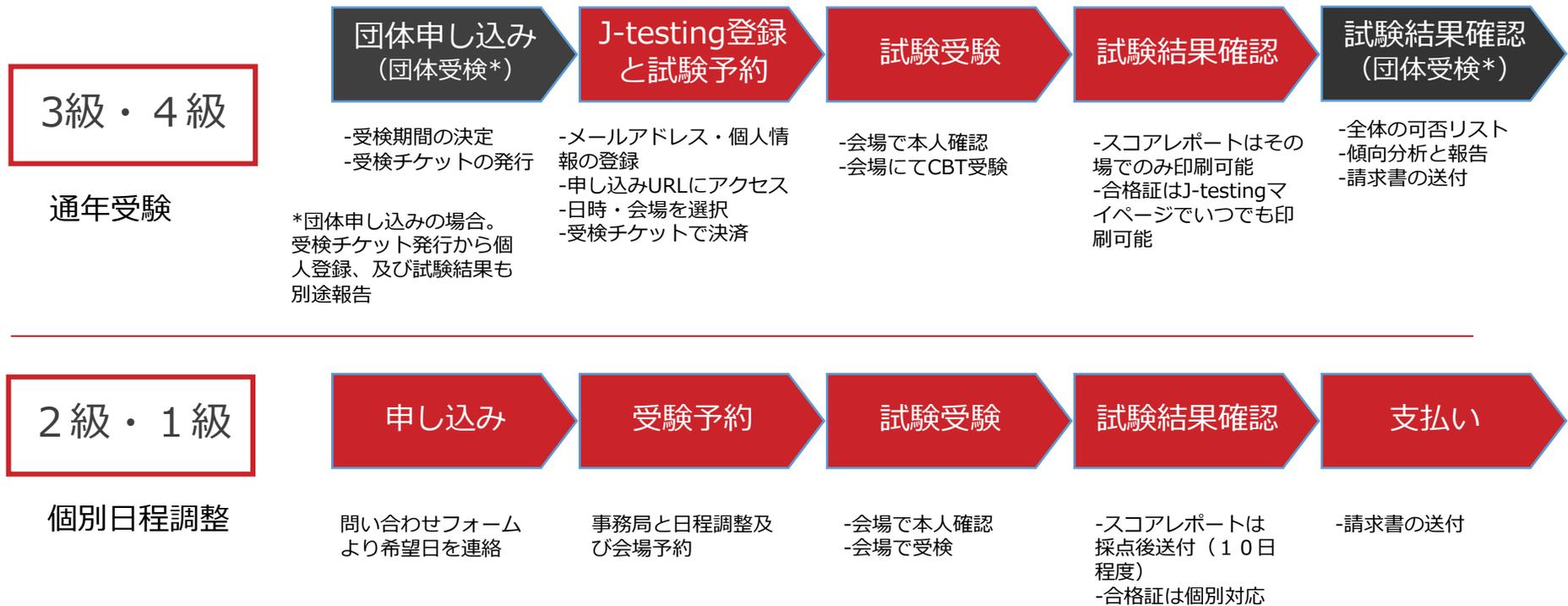
会社の社員に問題解決力の資格取得者
が多いので、共通の思考法をもって業
務に取り組めるし、問題が発生した場
合も早期解決につながっている

全体の流れ（申込み～結果確認） と受検形態



全体の流れ：申し込み～結果確認

4・3級はJ-testingで全国各地での受検もしくは団体受検。2・1級については、問題解決力協会との個別日程相談で会場を決めていきます



受検形態について

受検は全国にあるテストセンターを利用と団体受検の場合は受験会場を確保し、会社での集団受検も可能です

受検形態1-1：テストセンター受験- 3級・4級

受験者が、試験会場と日時を指定・予約し、当日指定・予約した会場・時間にて受験する。

全国47都道府県、約200会場での受験



<https://j-testing.jp/Reserve/Certification/Detail/1082>



受検形態1-2：会場集合型受験（WEB受験）- 3級・4級

貴社もしくは問題解決力検定協会にて、会場を確保し、試験官の管理のもと制限時間を厳守して受験。郵送による紙実施。人事の方などが試験監督をいってくださることが条件となる。

受験形態について

2級・1級の場合は、パソコンを利用した受験となるため、基本的には問題解決力検定協会にて会場を確保する（場合によっては、会社での受験も可能）

受験形態2：会場型受験 - 2級・1級

[2級]

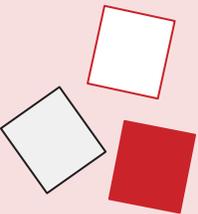
貴社もしくは問題解決力検定協会にて、会場を確保し、試験官の管理のもと制限時間を厳守して受験

[1級]

問題解決力検定協会にて、会場を確保し、試験官/面接官の管理のもと制限時間を厳守して受験

	2級	1級
受験生持参 必需品	<ul style="list-style-type: none">Microsoft Power pointがインストールされているパソコン	<ul style="list-style-type: none">事前提出課題Microsoft Power pointがインストールされているパソコン

試験の結果報告について



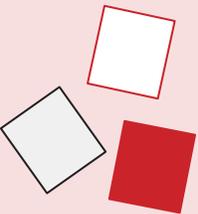
試験結果報告（概要）

試験の結果は、8つのカテゴリーごとにスコア化され、各領域の評価内容と問題解決力のさらなる向上のためのポイントレポート形式で提供

	4級	3級	2級	1級
スコア	総合評価と8つのカテゴリーごとのスコアを提示			
レポート内容	<ul style="list-style-type: none"> 総評 8つのカテゴリに対してコメント (ビジネスの基本、問題解決の基本、情報収集、チャートの作成、質問力、論理的思考、文章構成、人の巻き込み) 	<ul style="list-style-type: none"> 総評 問1. 問題のまとめ ピラミッドの結論部分（文章構成） 結論を支える3つの箱とその内容（論理的思考/ビジネスの基本） 結論を支えるチャート（チャート作成/文章構成） 問2. 解決策の方向性について 解決策全体について（問題解決策のアプローチ/人の巻き込み） 必要な情報項目（情報収集/質問力） 	<ul style="list-style-type: none"> 総評 問題解決への取り組みレベル（問題解決の基本・人の巻き込み） 情報収集・質問力と分析 本質的問題を捉え表現する力（ビジネスの基本・論理的思考・文章構成） 更なる問題解決力向上に向けて 	



育成プログラムの紹介



育成プログラムの紹介

4級

3級

2級

1級

書籍

「はじめての問題解決カトレーニング」 斎藤顕一・竹内さと子（ダイヤモンド社）
「（新版）問題解決の実学」 斎藤顕一（ダイヤモンド社）
「考える技術・書く技術－問題解決力を伸ばすピラミッド原則」 バーバラミント（ダイヤモンド社）
「新人コンサルタントが最初に学ぶ 厳選フレームワーク20」（フィールドマネジメント）
「（新版）グロービスMBA経営戦略」 グロービス経営大学院（ダイヤモンド社）

eラーニング

決定版問題解決力育成講座

問題解決力育成10時間講座

論理的思考の強化講座

問題解決力検定
4級対策講座

2級対策講座（課題理解
+ 本質的問題の発見）

コンサルタント育成講座

企業研修

Problem Solving Skills (Basic)

Problem Solving Skills (Advance)

塾
(個人)

問題解決塾

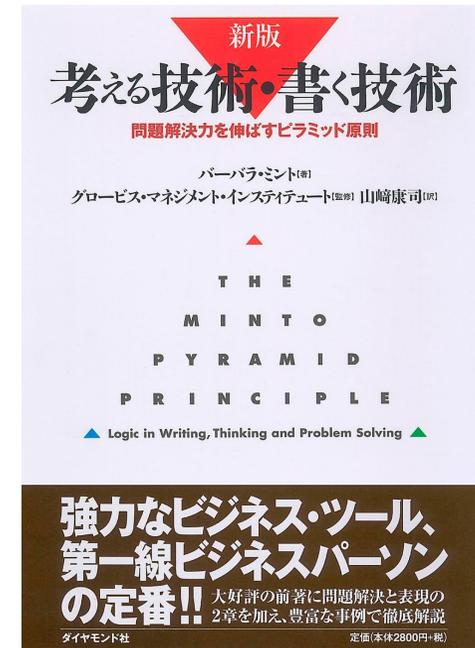
育成プログラムの書籍の紹介



「はじめての問題解決力トレーニング」
斎藤顕一・竹内さと子（ダイヤモンド社）



「(新版) 問題解決の実学」
斎藤顕一（ダイヤモンド社）

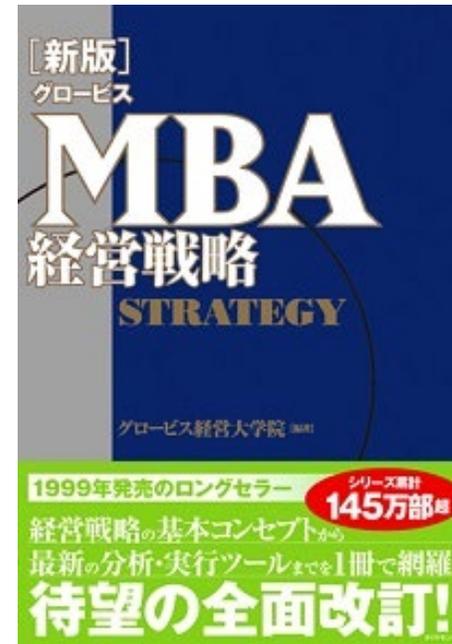


「考える技術・書く技術
－問題解決力を伸ばすピラミッド原則」
バーバラ・ミント（ダイヤモンド社）

育成プログラムの書籍の紹介



「新人コンサルタントが最初に学ぶ
厳選フレームワーク20」
(フィールドマネジメント)



「(新版) グロービスMBA経営戦略」
グロービス経営大学院 (ダイヤモンド社)

4級対策講座

4級合格だけではなく問題解決の考えを人生に取り入れてるきっかけとなる内容。8つの領域の基礎的な知識を身に着けることにフォーカスした講座

問題解決力を学ぶ意義、と企業業績向上の問題解決において必要な8つの知識を学んでいきます。単なる知識の説明ではなく、その根本となる考え方も理解できるような講座になっています。講座で学んだことはビジネスマンの基本知識であり、ビジネス入門としても活用できる内容です。

カリキュラム	
1	ビジネスの基本
2	問題解決の基本
3	情報収集
4	質問力
5	チャートの作成（情報の分析）
6	論理的思考
7	文章構成
8	人の巻き込み

概要	
レベル	初級
時間	2時間
演習	なし

3級・4級向け：問題解決力育成10時間講座

問題解決力育成10時間講座は問題解決をはじめて学ぶ人たちを対象とした基本講座

ビジネスにおいても問題解決は必須スキルと言われていますが、学校でも企業でも教えてもらっていないし、本を読んでも身につかない。この、“問題解決”とはどのような考え方で行動の仕方なのかを理解し、自部門や自分の会社の業績を上げるためにはどのような取り組みが必要なのかを学びます。

カリキュラム	
1	なぜ考え方を学ぶことが重要なのか
2	問題解決とはどのような考え方なのか
3	重要課題発見の方法を学ぶ
4	情報の集め方を学ぶ
5	質問力と対話力
6	分析の仕方を学ぶ
7	論理的思考-解ったことから結論を導き出す
8	論理的思考-帰納法のコツと解決法を考える
9	ストーリーライティングとプレゼンテーション
10	自分を磨き仲間を巻き込む

概要	
レベル	初級
時間	10時間
演習	なし
受講者の声	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">秩序正しくものごとを考えることができるようになると自分の考え方に自信が付きはじめてのことにも臆病にならずトライできるようになりました</div>

2級～4級向け：決定版問題解決力育成講座

問題解決の応用までを演習を通して身につける、「実力」にしたい方向けの講座

10時間講座よりもより具体的、網羅的に問題解決の全体像と各プロセスについて学びます。整理統合しまとめ上げるのに必要な考え方を学びます。また、豊富な演習を通じて、実際にご自身が学んだ考え方を身につけ、実践していただけるように構成されています。

カリキュラム	
1	問題解決の重要性を理解する
2	問題解決のアプローチを理解する
3	取り巻く環境を理解する
4	効果的情報収集法
5	チャートで考える技術
補講	ExcelとPowerPointの使い方講座
6	ロジカルシンキングⅠ（論理的な考えにふれてみる）
7	ロジカルシンキングⅡ（フレームワークと順序）
8	ロジカルシンキングⅢ（帰納法とMECE）
9	ロジカルシンキングⅣ（演繹法とピラミッド構成）
補講	本質的問題の発見演習
10	市場分析
11	企業分析

概要	
レベル	初級～上級
時間	43時間
演習	あり
受講者の声	「なぜ」を何回も自分に問いかけて振り返ることで本質的な問題にたどり着く力が訓練されていく

2級対策講座

問題解決力検定試験2級を合格するために必要な講座を抜粋したコース

2級でテーマとなる企業の問題発見に関する講義（コンサルタント育成講座から抜粋）と、本質的問題をどのように発見しまとめるかを実践いただくための演習（決定版問題解決力育成講座の本質的問題の発見演習を抜粋）で構成されています。
本質的問題を帰納法でまとめ上げるためのロジカルシンキング講座と合わせてご受講いただくと、試験の対策に有効です。

カリキュラム

1	企業の課題を正しく理解する
	1 課題のあたりづけとは何か
	2-1自社の業績を理解し、市場の成長機会を理解する
	2-2対象市場の状況と成長機会 3
	3 VC上の重要課題を考える
	4 インフラや人の重要課題を考える
	5 解決の方向性をイメージする
2	本質的問題の発見演習

1級向け：コンサルタント育成プログラム

企業の本質的問題を発見し、解決するための施策を立案し、実現を支援し、インパクトのある成果をつなげるコンサルタントとして活躍するための能力を獲得できるプログラム

この40年で“コンサルティング”は様変わりしている。業界が成長する過程で、コンサルティングは一般化し、仕事の内容は標準化・定型化され、重要課題を発見するのではなくソリューションを提供したりすることが中心になり、コンサルティングに携わる人も増えました。本来のコンサルティングとは、クライアント企業が業績を高めることができない本質的問題を発見し、それを解決するための施策を立案し、実際に実現を支援することでインパクトのある成果をもたらすもの。このプログラムは「クライアントのためになる」コンサルタントになるために必要なことは何かをフォーカスをあてた講座です。

カリキュラム		概要	
1	コンサルタントにとっての問題解決とは	レベル	中級
2	企業の課題を正しく理解する	時間	15時間
3	コンサルタントに必要な能力～コンサルタントの情報収集～	演習	なし
4	コンサルタントに必要な能力～データを分析する～	受講者の声	情報や問題を帰納的・演繹的視点で捉え直し 何が欠けているのか、本質的な問題は何かということ 批判的に思考する習慣が身に付きました
5	問題解決に必要な能力 ～論理的思考～		
6	コンサルタントとしての生き方		

企業の競争力を高める『問題解決力検定』

社員の思考力を可視化し、組織全体のパフォーマンス向上を実現しませんか？



変化の激しい時代だからこそ、社員の思考力が企業の未来を決める

問題解決力検定で、御社の人材戦略を次のレベルへ



M O N K E N



問題解決力検定